

2024年6月12日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

豊岡中核工業団地でマイクログリッド事業始動  
—関西エリア初 豊岡市において地域マイクログリッド発動試験実施を経て—

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）のグループ会社であるカネカソーラー販売株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：高橋 厚志）、および伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、社長 COO：石井 敬太）にて設立した豊岡地域エネルギーサービス合同会社（本社：兵庫県豊岡市、代表：奈須野 善之）は、4月より豊岡中核工業団地でマイクログリッド<sup>\*1</sup>事業を開始いたしました。

これに先立ち、2024年2月に豊岡市、関西電力送配電株式会社、関西電力株式会社、日本パワーファスニング株式会社（試験参加の高圧需要家）と連携して、関西エリア初となる一時的な電力系統からの切り離しを伴う災害時向けの地域マイクログリッド発動試験<sup>\*2</sup>を実施し、災害時に自立した電力供給が可能になることを実証しました。マイクログリッド事業が始動したことで、既に開始している太陽光発電事業、蓄電池事業による平常時の地域脱炭素サービスに加えて、災害時にも各工場のライフライン、街灯インフラ、携帯電話基地局などに対する電力サポートサービスが実施できるようになりました。

当社は、先進性の高い本事業の実証を通して技術を深め、更に脱炭素に取り組む自治体や企業との連携を進めて適用拡大を図るとともに、太陽電池や断熱材をはじめとする当社の環境配慮製品を用いたトータルエネルギーソリューションで地域社会に貢献していきます。

以上

\*1. 限られた地域コミュニティの中で、自家発電設備で電気を作り、蓄電池などで電力量をコントロールし、既存の配電網を活用することで、エネルギーの地産地消ができるシステムのこと。当社は、経済産業省の「令和4年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金」を活用して、地域マイクログリッド事業に太陽光発電事業、蓄電所事業を組み合わせた複合的な電力サービス事業を推進しています。

\*2. 豊岡中核工業団地全域を対象とする地域マイクログリッドのうち、3需要地のみを切り出した小規模マイクログリッド（太陽光発電設備：約 1,000kW、蓄電所：1,999kW-6,000kWh、高圧需要家2社を含む）を形成し、実際に停電させた上で、災害時を想定した停電状態から発動試験を実施いたしました。その結果、大きな電圧低下や高調波歪を生じることなくマイクログリッド内へ安定した電力供給が可能であることを実証いたしました。なお本試験は、一時的な電力系統からの切り離しを伴

う地域マイクログリッド発動試験としては国内最大級の規模\*3になります。

\*3. 2024年2月時点、カネカ調べ。

<スキーム図>

豊岡地域エネルギーサービス合同会社を中心となり、豊岡市、株式会社カネカ、伊藤忠商事株式会社、関西電力送配電株式会社、関西電力株式会社、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ、E-Flow 合同会社、豊岡中核工業団地の協賛各社が連携。



<小規模マイクログリッド概観>



太陽光発電設備：約 1,000kW

高圧需要家：日本パワーファスニング株式会社等



蓄電所：1,999kW-6,000kWh